

特集／透析技術の最前線

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. 透析技術の歴史 | 川崎 忠行（前田記念腎研究所茂原クリニック） |
| 2. 透析技術の進歩と未来 | 峰島三千男（順天堂大学大学院医療科学研究科） |
| 3. 透析液の水質管理と清浄化 | 内野 順司（みはま病院 CE 部） |
| 4. 透析液の排液基準と管理 | 安藤 勝信（練馬光が丘病院臨床工学室） |
| 5. 透析装置の最新機能 | 塚本 功（埼玉医科大学国際医療センター臨床工学部） |
| 6. ダイアライザおよびヘモダイアフィルタの最新動向
ー膜透過性と生体適合性の観点から | 小久保謙一（北里大学医療衛生学部医療工学科） |
| 7. エコーガイド下穿刺の新技術 | 人見 泰正（桃仁会病院医療技術部） |
| 8. バスキュラーアクセス管理の最前線
ーその方法と各種モニタについて | 木船 和弥（東葛クリニック病院診療管理部将来構想戦略室） |
| 9. オンライン HDF の最新技術 | 田岡 正宏（Office. Stone Beach 株式会社研究開発部） |
| 10. 間歇補充型血液透析濾過（I-HDF）の最前線 | 五十嵐一生（本間なかまちクリニック臨床工学科） |
| 11. 透析における最新モニタ | 森實 篤司（ホスピエ腎透析事業部臨床工学部／新生会第一病院） |
| 12. 在宅透析（HHD/PD）における最前線と遠隔管理
ー安全設計・データ連携・AI の位置づけ | 杉本 膳寿（真鶴会小倉第一病院在宅透析推進室） |

■次号予告

臨牀透析 6 月号

〈2026 年 6 月 10 日発行予定〉

OPINION

NPO 法人日本看護キャリア開発センター 下山 節子

特集●透析医療と看護師の特定行為－看護師の役割拡大

企画に当たって

昭和医科大学保健医療学部看護学科 三村 洋美

- | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-------|
| 1. 看護師の特定行為の創設の経緯と意図 | 一般社団法人 TMG 本部，独自行政労働者健康安全機構 | 有賀 徹 |
| 2. 特定行為が実施できる看護師のバックグラウンド | 藤田医科大学 FNP 室 | 永谷ますみ |
| 3. 特定行為研修の実際と課題 | 目白大学看護学部看護学科 | 小泉 仁子 |
| 4. 特定行為の範囲と実施プロセス | 昭和医科大学認定看護師教育センター | 多久和善子 |
| 5. 看護師の特定行為実践とタスクシフト | 日本大学医学部内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野 | 阿部 雅紀 |
| 6. 透析室で実践する特定行為と医師との連携 | 聖隷沼津病院 | 濱本 育代 |
| 7. 腎不全看護領域の看護師の特定行為の可能性 | クレドさとうクリニック | 内田 明子 |
| 8. 看護師の行う特定行為のメリットとリスク | 東京女子医科大学病院 | 田村 文子 |
| 9. 透析管理の特定行為における安全管理の実態と課題 | 宏潤会大同病院診療部 NP 科 | 後藤 修司 |
| コラム：小規模医療機関における特定行為 | 東名厚木病院 | 剣持 功 |
| コラム：特定行為と診療報酬－現状と今後の可能性 | 帝京平成大学看護学部 | 川原千香子 |

（編集の都合により掲載内容が若干変更となることがあります）